



2025年12月14日発行

No.58

早稲田大学本庄高等学院通信

発行：早稲田大学本庄高等学院 発行人：半田 亨 〒367-0032 埼玉県本庄市栗崎239-3 ☎0495-21-2400 https://www.waseda.jp/school/honjo/

夢

早稲田大学本庄高等学院 学院長 半田 亨



台南一中の廖校長先生と

私は夢がありました。2009年、本市内の河川環境保護活動をしていて、NPPO団体から「一緒に本庄市の河川環境保護活動をして

吉田市長は「経済的な側面だけでなく学術的な側面の交流も望ましいから、市役所の担当に伝えておく」と仰いました。その後、本市国際交流協会から東京六本木の日本台湾交流協会に打診、交流協会から高雄、そして台南と連絡され、台南市が交流校を募ったところ、台湾南部屈指の伝統校である国立台南第一高級中学(以下、台南一中)が手を挙げてくださ

人は、年齢を重ねるにつれ、家庭を持ち、経済的時間的な制限ができ、どんな夢も小さく現実的なものになっていきます。一方で、子供ができること子供の成長が夢になり、仕事のプロジェクトが夢になったりと、夢の方向が自分だけのものではなくなっていく。だから学院生の皆さんには、今こそ大きな夢を抱いてほしいと思います。大きな夢を持ち友人に公言できるのは今だけです。ここで言う夢とは「アイドルと結婚する」といった実現の難しい荒唐無稽な願いではなく、「自分が如何に社会に貢献できるか」を指します。

紹介したこんなに小さな私の夢でも、この夢を叶えようと思っただけで交際していた時間は、挫折もあったけれども充実していました。夢に近づこうとする努力の時間は充実が繋がり、一ミリでも近づいたことを実感した瞬間は生きる喜びやエネルギーとなります。是非、本庄学院在学中に夢を見つめる努力をしてください。そして、実現に近づける努力をしてください。今、皆さんが抱く夢は、大きければ大きいほど皆さんを成長させてくれます。

追記 10月29日(水)公益財団法人三菱UFJ環境財団からヤマザクラの苗木50本を寄贈いただいたことを記念して、桜苗木植樹式をセミナーハウス向かいの大隈侯銅像の前で行いました。それに伴い、植樹する銅像からテニスコートに至るこの坂道の名前を募集しました。

「夢桜坂(ゆめおうざか)」(2年生の大塚隼平さん)に決まりました。桜(おう)もかけています。5年後10年後に桜のトンネルができ、学院生たちが登下校の度に夢を噛み締める坂になることでしょうか。



曾文溪河川調査前の川研と台南一中との記念撮影



曾文溪での河川調査の様子

稲稜祭を「楽しむ」について

稲稜祭実行委員長 3年F組 野田 遼真

稲稜祭の実行委員長を引き受けたとき、正直「自分に何ができるのだろう」と思った。実行委員長という役割は、すごく特別な力があるように思えるかもしれない。でも実際にやってみて分かったのは、委員長ができることなんて、案外少ないということだった。僕にできたのは、みんなが楽しめる環境を整えること。そして、それをどう楽しむかは一人ひとりの能動的な気持ちにかかっていた。

稲稜祭というのは、誰がやってもある程度は成功するものだと思う。なぜならみんなが「楽しむ」ことをやりたい」と思っただけで集まっているからだ。だからこそ、委員長としての僕の仕事は、みんなのその「楽しむ」気持ちを支えること。ステージの進行を調整したり、装飾の材料を集めたり、スケジュールを詰めたり。地味で細かい作業の連続だったが、それが全体を動かすための基盤になっていた。

もちろん、順調にいくことばかりではなかった。アイデアを出しても「それは難しい」と織部先生に言われることが何度もあった。でも、難しいということが何となく「不可能」とは違う。実際に考えてみると、ほとんどの「難しい」は、ただ手間がかかるだけの話だった。そんな時はなぜ難しいのか、どうすれば出来るのかを考えることを心がけた。そうやって「なぜ」を掘り下げていくうちに、やるべきことが自然と見えてきた。リーダーとは、みんなの意見をまとめる人というより、「なぜそれが必要なか」を一緒に考える人なのかもしれない。

また委員長として感じたのは、「人は指示ではなく共感で動く」ということだ。協力を求める言葉だけでは、人の心は動かない。なぜそれが必要なのか、どんな意味があるのかを一緒に考えることが大切だった。ときには空回りもしたが、少しずつ周りが自発的に動き始めたとき、その共感の力を実感した。リーダーとは、人を動かす人ではなく、動きたくなる理由を作る人なのだと思う。



文化祭を通して学んだのは、「楽しむ」というのは受け身ではなく、能動的な感情だということだ。誰かが楽しくしてくれているのではなく、自分が楽しくすることによって初めて楽しくなる。委員長としてできるのは、そのきっかけを作ることだけ。でも、それで十分だと思う。最後にもう一度言う。文化祭は確かに難しい。けれど、難しいだけであって、不可能ではない。やるべきことを一つひとつ見つけていけば、必ず形になる。そして、みんなそれぞれ作り上げた瞬間こそが、最高に楽しい時間だった。本当にありがとうございました!!

修学旅行を振り返って

「修学旅行の意義」とは 韓国コース

3年G組 塩野 楚良

選択科目の課題、教場試験、期末テスト、そして卒論に追われる今、かけがえない仲間たちと笑い合いながら過ごした4泊5日の修学旅行が懐かしく思い出されます。課題を忘れて楽しく過ごせたあの時に戻れたらと、つつい考えています。

修学旅行で特に印象に残っているの



私はこの修学旅行中、結団式で半田先生がおっしゃっていた「修学旅行の意義」について



は、安養外国語学校との交流会です。時間はあつという間でしたが、互いの文化を尊重し合う歌やダンスの出し物に始まり、言語の壁を越えてパティとコミュニケーションをとる素敵な会でした。たまたもつと韓国語で話すことにチャレンジしたかったというのが心残りです。また、学院史上最長となる12時間の自主研修も印象的でした。事前に班員と話し合っ

決めた行程表に沿いながら、時には臨機応変に対応し、ソウル市内を存分に満喫することができました。

改めて、半田先生や羽田先生をはじめとする先生方、常に私たちが楽しめるよう尽力してくださったガイドの方々、そして私たちを送り出してくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。この旅行が皆にとつて何物にも代えがたい素敵な思い出となったことを心から願っています。감사합니다(カムサハムニダ)。

非日常で得た知見と絆

台湾コース
3年C組 井上 優

異郷の地で過ごした修学旅行の四泊五日は、観光学習、そして国際交流といつた多面的な経験に恵まれた、まさに非日常を味わい尽くす貴重な機会となりました。

初日は成田空港を出発し、台北の桃園国際空港に到着後、現地の百貨店で自由行動の夕食となりました。各自で台湾料理を味わいながら、いよいよ始まる旅への期待が高まりました。

二日目は九份の散策から始まり、霧と灯りに包まれた幻想的な街並みを楽しみました。午後は故宮博物院で歴史的至宝を見学し、中華文明の奥深さを感じました。夕食会場では、学院生活をともにした留学生の呉さんが登場するサプライズもあり、宿泊先ホテルではかつての級友と旧交を温める場面が見られ、国境を越えた絆が改めて深まる感動的なひととき

となりました。

本修学旅行の目玉である台中一中との交流活動が三日目にありました。海外の同世代の高校生と言葉の壁を越えて交流し、部活動や授業体験を通じて多くの刺激を受けました。夜には高雄市の六合夜市を訪れ、屋台料理など台湾の活気ある夜の街を堪能しました。

高雄での自主研修日の四日目は天候に恵まれ、美麗島駅、蓮池潭や旗津半島等の観光地を班ごとに巡りました。平日で観光客も少なく、現地の人々の生活を間近に感じ、台湾の魅力により深く知る機会となりました。

最終日の五日目には忠烈祠で衛兵交代式を見学し、迫力と威厳に満ちた儀式に深い感銘を受けました。こうして五日間の旅は幕を閉じました。

「百聞は一見に如かず」の俗諺が示すように、台湾の文化や人々



第1学年 学年行事について

1年B組 渡辺 康太



先日、第1学年の学年行事で新宿の末廣亭で、寄席で友達と楽し

みました。寄席を見るまでは2時間退屈するだろうとあまり期待はしていませんでしたが、良い意味で期待を裏切られました。まず驚かされたのは芸人の観客の想像力を掻き立てる技術です。例えば、ある芸人は扇子をお箸に見立て、口で蕎麦を吸る音を立てて食べるフリをしていました。仮に私が芸人と同じような事をしても、ただ扇子を口に近づけて変な音を立てている変人にしか見えなと思います(笑)。次に驚愕したのは、最近のネタを取り入れているという点です。実際に寄席を見るまでは、古臭いネタばかりであり楽しめないと思っていました(実際はいわゆる古臭いネタも面白かったのですが)、ある芸人が発泡スチロールアートという芸を披露してくれました。その芸ではピカチュウやドラえもん等の絵を発泡スチロールを削って作り、観客にプレゼントしていました。残念ながら、私はもう事ができなかつたです。(笑)

最後に魅了されたのは、迫力満点の芸です。例えば、傘の上に球を乗せて回す芸や、顎の上に棒や球を重ねる芸などがありました。中でも驚いたのは、包丁を使つた芸です。芸人がいくつもの包丁と皿を重ねているのを見ていたら、私までも緊張してしまいました。観客である自分も、まるで芸の中にいるようでした。



未曾有の球技大会

球技大会委員長 2年C組 金子 旺 祐

球技大会前は悪天候に見舞われ、開催が心配されましたが、当日は見事に晴れ、まさにスポーツ日和となりました。学院生の勝ちたいという気持ちがぶつかり合い、白熱した試合が各地で行われる球技大会を開催することが出来ました。競技を心から楽しんでくださった学院生の皆さんありがとうございます。また、運営にかかわってくださった運動行事実行委員会や先生、保護者の皆さん、そして審判を行ってくださったバレー部、サッカー部、野球部の方々本当にありがとうございました。

前年度は表彰されるのが競技の一位のクラスのみでしたが、「クラス全員で戦ってほしい、クラスの仲をより深めてほしい」という気持ちから今年度は球技大会に学年の優勝クラスを決定するという試みをしました。これにより心なしか去年よりも応援が多かつたような気がします。とくに一年生のサッカーの決勝は前半で決着がつかず、PK戦にもつれこむ大激戦が繰り広げられ、PKを決めたときは球技大会一の声援が上がり、大盛り上がりとなりました。

インフルエンザの蔓延により欠席者や体調不良者が多く、開会式も放送で行われるという不安な状況でしたがその不安を吹き飛ばすような声援と活気あるプレーで球技大会を成功することが出来ました。本当にお疲れ様でした!!





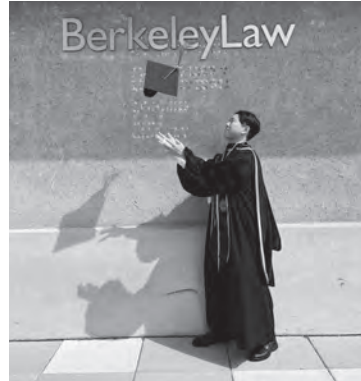
【行動が変われば心が変わる】何気なく行動を継続している、しばらくしてその行動を今後も習慣化したいという心が芽生えたという経験をした。それは車の運転時に起こったことだった。私は、運転免許を取得してからというもののウィンカー（方向指示器）を出すタイミングが遅かった。車線変更する際も、左折予定で赤信号に停止している際も、車が方向を変えるギリギリまでウィンカーを出さなかった。理由は省エネ、また、長時間力チカチと鳴ることへの煩わしさであり、それでいいだろうと思っていた。しかしある時、そういえば法律は「車線変更する30m手前からウィンカーでその意思を示さないといけない」と定めていることを思い出した。そしてその瞬間、何気なく30m手前からウィンカーを出してみた。特に法律を守りたいという思いが芽生えたわけではなかったが、さらに次の機会も30m手前から出してみた。その次の機会もとりあえず出してみた。しばらくそのような何気ない行動が続いたある日、私は自分の心に芽生えた変化に驚くことになる。それはいつものように30m手前からウィンカーを出して左折準備をしていた時、目の前の車が交差点へ進入する直前に突然ウィンカーを出して左折した瞬間のことであった。それを見た私は法律を守らない目の前の車に対して憤りを感じたのだ。そう、目の前の車の行動は、最近までの自分の行動と同じであったのに。とても不思議だった。今の自分には、「30m手前からウィンカーを出したい」という心が芽生えていたことに気づいたのである。私の人生において、行動を変えたいときはいつも心から先に変えなければと思い込んでいた。しかし、別のやり方もあるんだと。なりた自分の姿があるとき、まだ心がついてこない段階でも、とりあえず行動を変えればあとから心の変化があり理想に追いついてくることもある。

それからは30m手前に差し掛かるのがとても楽しくなった。(T.T)

活躍するOB・OG

私にとっての本庄高等学院

T.M.I総合法律事務所 弁護士
北嶋 優人

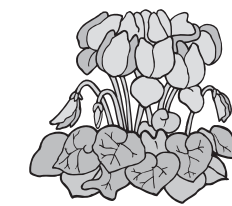


群馬県伊勢崎市出身、25期生（最後の男子校世代）の北嶋です。担任は3年間半田学院長で、バドミントン部に所属していました。また、学友が茶道部を作る際に人数合わせで誘われ、お菓子目当てで参加していたことも懐かしい思い出です。

その後、早稲田の法学部・法科大学院へ進学し、浦和でマチ弁としてキャリアをスタートしました。現在は、弁護士約600名規模の法律事務所等で主に労働事件に携わっています。皆さんの中にも将来国家資格取得等を目指す方がいると思います。皆さんの中にも当然大事ですが、勉学に励むことも当然大事ですが、学院ならではの貴重な経験や交流も大切にしたいなと思います。

例えば、学院には大学単位の先取り制度があると思いますが、私は高校時代、部活の休みの日に新幹線で法学部の授業を聴講し、それが進路選択の大きな後押しとなりました。また、当時は博士課程の院生が学院の授業を一部担当しており、授業中

に自身の研究を熱意をもって紹介してくれたり、大学を訪れた際には、研究室を案内してくれたり、教科書の勉強とは異なる学問の面白さを教えてもらえました。今でも、駒澤大学の飯田洋介先生や明治大学の小賤陽平先生（それぞれビジネスマルク・菅茶山研究の第一人者です。）とは交流させていただいております。また、大学院では、早稲田がクメール・ルーージュ後のカンボジアの法整備支援をしている関係で、同国の司法省にインターンさせていただく機会もあり、当時の政権交代の機運が高まる現場で民主主義の熱気を肌で感じました。



Gallanut Puakpiboon さん (ピオニー さん)

みなさん、こんにちは。I am Peony an AFS exchange student from Bangkok, Thailand and I arrived in Japan on August 21st this year. So far, my experience here has been truly incredible, thanks to you all for going out of your way to make my time here unforgettable.

When I was a kid, my family took me on a trip to Japan, and that experience made me want to return someday to learn more about Japan and Japanese culture. Ever since then, studying in Japan has been my dream, and being here now means so much to me. It's truly an honor, and I would like to sincerely thank everyone— local AFS volunteers, the people at Waseda Honjo Senior high school and my fellow exchange students. I am grateful for all the support and kindness you have shown me.

Before coming here, I was a little nervous about being so far from home, but I've realized that I am not alone. So many people have kindly offered their help and guided me throughout my journey. I am truly grateful for that. Everyday, I look forward to going to class and joining clubs, even when I don't understand everything. Thanks to my classmate and friends, I've been able to enjoy every moment. I'm also looking forward to experiencing the school festival with all of you.

Thank you all for being there for me and helping me through this journey. I will cherish all the memories I've made here with everyone and I cannot express enough how grateful and happy I am to have had the opportunity to meet everyone. Even after I depart in December, these memories will always hold a special place in my heart.

留学生の紹介

俞 思羽 さん (ユシウ さん)



こんにちは。中国からの留学生、俞思羽（ユシウ）です。現在、AFS アジアカケハシプロジェクトを通じて、一年E組で学んでいます。出身は寧波外国語学校で、高校卒業後は日本の大学へ進学することが私の夢です。ここ二年間、早稲田大学を目指して勉強を続けてきました。

今回の交流学习は、私にとって非常に貴重な機会です。日本に到着した当初は、ほとんど日本語が話せず、とても緊張していました。しかし、学院の友達と先生方が親切に支えてくださり、少しずつ日本語にも慣れ、学校と寮生活を楽めるようになってきました。

一年生の授業に加えて、私は二年生の物理と世界史、そして三年生の地理も選択しています。友達と一緒に実験に取り組み、レポートを完成させるのは難しくも、大きな達成感があります。また、家庭基礎の調理実習でバナナカップケーキを作ったのは、特に楽しい思い出です。茶道にも興味があり、部活に参加しています。抹茶と和菓子の組み合わせが大好きです！

自分のクラスでの英語の発表や、本庄市の小学校を訪問して中国文化を紹介した際には、皆さんが興味を持ってくれたことが、何よりの嬉しさでした。

一学期はあっという間でしたが、日本の文化と生活に対する理解が大きく深まりました。早稲田大学本庄高等学院での経験は、私の心にずっと残る宝物です。大学で、また皆さんと会える日を楽しみにしています。

魅力的な先生の紹介

#バトン#8

尺八のこと

公民科 坂井 淳一

私のことを多くの生徒が「ニョカク」と呼び捨てにしていることを私は知っている。ほんとは「ニョカク先生」と呼んで欲しいところだが、生徒が生徒同士で話をするときに「〇〇先生」などと言うわけがないので、それはどうでもよい。しかし、「ニョカク、ニョカク」と言いながら何がニョカクなのか分かっていない人が多そうなので、この場をお借りして少し説明させてもらおうと思う。「ニョカク」は漢字で書くところ「如覚」である。これは私が尺八を吹くときのニックネームである。私は中学生のときにコーヒのCMでピアノの中村敏子さんが弾くショパンを聴いて衝撃を受け、西洋音楽にのめり込んだ。しかし高校に入ると、今思えば一番その頃読み始めた三島由紀夫の影響が一番大きかったような気がする。「日本本能的なもの」に強い憧れを抱くようになり（そういうものがあるかどうかは別にして）、相変わらずシヨパンやベートーヴェンは聴き続けていたものの、一方で能や歌舞伎などにも興味を持つようになった。その延長線上で、大学では尺八・三味線・お琴のサークルに入り、尺八を吹き始めた。サークルでは三味線やお琴との合奏もよく行ったが、卒業後はサークル時代からの師匠に個人的に弟子入りし、専ら、尺八だけで演奏する「古典本曲」と呼ばれる曲を吹いている。「如覚」の話に戻ると、日本の伝統芸能の世界では、昔から、弟子の技量があるレベルに達すると師匠から名前をいただく習慣があるが、私の師匠が率いる会では、「如覚」という名前が付けられることになっていて、私の学問の専門が仏教思想だったこともあり、師匠が「悟り」を意味する「覚」という字を選ばれ、その結果、私は「如覚」となったのである。実は尺八の古典本曲は、もともと仏教のお坊さんが悟りを求めて吹いたものであり、したがって、「如覚」という名前はまことに有難い名前なのであるが、いまだに中身が全然備わっていない。だから、名前に恥じぬように、これからも精進を続けたいと思っている。



次は、体育科の篠田先生を繋ぎたいと思います。

各種プログラム報告

課外講義「これがサイエンスだ! (これサイ)」

◆2025年度「これがサイエンスだ!」

第3回 「納豆に酢をかけるって?」
化学科 中村 純教諭 2025年6月18日(水)

第4回 「確率から学ぶ深淵のななし」
数学科 由居 高敏講師 2025年9月30日(火)

第5回 「数論的量子現象とは何か(ノーベル物理学賞2025解説)」
数学科 峰 真如教諭 2025年12月9日(火)予定

第6回 「MOPの世界(ノーベル物理学賞2025解説)」
化学科 中村 純教諭 2025年12月10日(水)予定

◆2025年度夏ゼミ合宿 2025年7月23日(水)～25日(金)

この合宿では「授業では扱わない専門性のある内容を探求し、進学や将来について新たな視点をもつ」ことを目的とし、生徒たちは以下4つのパートに分かれ探究活動を行いました。数学パート: 射影平面(平行線も交わる平面)のすばらしさについて 宇宙線パート: 体育館、本市市の古墳での宇宙線の観測について 深海探査パート: オリジナルの深海探査機の3Dモデルについて 化学パート: 電子の動きによって物質の性質や反応を説明する有機電子論について

また、パート別の探究活動の合間には以下の2つの特別講義が行われました。

「鳥人間の力学」東京科学大学 大学院生 西森先生
「絶対値付きの関数で遊ぶ」数学科 矢島先生

最終日には各パートごとに生徒たちによる成果報告会、3年生による卒論の経過報告会が行われました。

活動の詳細はQRコードから学院HPの記事をご覧ください。

国際交流活動

◆韓国Saeromam Christian School (SCS) とMOUを締結

5月12日(月)韓国テジョン市 Saeromam Christian School (SCS)において、MOUを締結しました。SCSとは2021年度よりオンラインシンポジウムを継続しており、昨年7月にSCSをホスト校としてKorea Japan International Youth Forum 2024が開催されました。

今年の7月には本校をホスト校として、日韓学術交流サマーカーン(WISE) 2025を開催しました。今回のMOU締結が、両校の生徒たちにさらに多くの経験を与えるきっかけになることを期待しております。

★Waseda International Summer Exchange (WISE) 2025

7/16～19、本学院と学術協定(MOU)を締結した韓国 Saeromam Christian Schoolより教職員・生徒13名を招へし、4日間の日程で開催しました。

アカデミックシンポジウムとフィールドワークを核とした合宿形式の国際交流で、宿泊施設は早稲田大学本庄セミナーハウス、共通言語は英語を用いました。

テーマは「Water Issues in Japan and Korea」(日韓で考える水問題)で、シンポジウムでは基調講演のあと、参加両校から合わせて5本の研究発表と活発な質疑応答がありました。

スポーツ交流や文化交流など多彩なプログラムにより、充実した交流となりました。

◆台中市立台中第一高級中学10名の生徒が本庄学院を訪問

5月25日(日)～5月31日(土)の日程で本校の姉妹校である台中市立台中第一高級中学(以下、台中一中)の生徒10名(教員1名)が本庄学院に滞在し、交流活動を行いました。

今度、本校が毎年修学旅行の受け入れをお願いしている一方、台中一中側は2年に1度50名の生徒が修学旅行で本校を訪問する形です。交流形態を再検討し、今年度より修学旅行受け入れのない年に10名の生徒を1週間受け入れることになりました。授業交流・遠足・体育祭参加など盛りだくさんのスケジュールでした。

◆16th Hana International Symposium

7月20日(日)～7月25日(金)の間、韓国ソウル市にある本校のMOU締結校であるHana Academy Seoul (HAS)主催16th Hana International Symposiumに参加しました(シンポジウムの期間は7月21日～24日)。本庄学院からは9名の生徒が参加しました。このイベントでは、3名1チームで研究成果を発表します。今回は、2チームがプレゼンテーション、1チームがポスターセッションに参加しました。参加者は1C中村、2B松村、2C高橋、2E佐藤、2G橋本、3C福居、3F大塚、3G金井・新島です。

◆22th Intelligent Ironman Creativity Contest

7月27日(日)～8月3日(日)の日程で、台湾屏東市国立屏東大学で開催された表記大会に参加しました。この大会は、高校生が創造力開発プログラムとして台湾教育部(日本の文科省に相当)が主催し、国立台湾大学が中心となり台湾の多くの大学の協力の元で運営されているイベントです。本庄学院は初回以来、毎年招待参加をしています。台湾の高校生にとっては、日本の甲子園大会のようなもので、6名1チームで各地区から2回の予選を勝ち抜いた24チームが決勝大会に残ります。そこにインターナショナル9チームを交えて決勝を行います。3日間をかけて最終課題の表現に取り組みます。3A野崎、3B岩井・高木、3C井上、3D末長・上山が参加し、パフォーマンス部門で優勝、決勝大会で準グランプリを受賞しました。

◆国立台湾第一高級中学との交流

8月13日(水)～17日(日)の日程で、学校紹介・パフォーマンス・河川調査・マンガ市場見学・招待夕食会などの交流活動が2日間に渡り実施されました。参加者は1B小長井・吉田・飯島、2A富工、2B富工、2C徳沢、2D川村、2E寺井、3B保戸塚、3C岡本、3E菅原、3F松山です。

◆タイのMahidol Wittayanusorn Schoolとの交流

タイのMWIT(Mahidol Wittayanusorn School)は本庄学院の姉妹校であり、毎年10名の生徒が相互訪問する交流を継続しています。10月13日(月)～19日(日)の日程で、MWITの生徒8名教員2名が本庄学院を訪問し、交流活動を行いました。来年の1月～2月には、学院生10名がMWITを訪問します。

◆留学生の紹介

9月より台湾から黄芷瑜さん(エリ、来年7月まで)、アメリカからWilding Emily Lauren(エミリー、来年1月まで)、中国からYu Siyuさん(エリ、12月まで)、タイからGallanut Puakpiiboon(ピオニー、12月まで)さんが本学院で学んでいます。

各種連携活動

◆河川研究班(川研)の活動

2025年度メンバーは1B小長井・吉田・飯島、2A富工、2B富工・菊池、2C徳沢、2D川村、2E寺井、3B保戸塚、3C岡本、3E菅原・木村、3F松山の15名です。川研の主な活動は、外部への成果発表・市内小学校への出前授業・藤田小との年2回の合同河川調査・河川における研究調査・市民シンポジウム開催などです。

【第17回川の日ワークショップ関東大会】

2月22日(土)共愛学園前橋国際大学を会場に第17回川の日ワークショップ関東大会が開催されました。この大会は、関東地方近辺(今回は東海・北陸)にも参加の河川環境保護に取り組みする団体から、活動を紹介し、活動を讃え、アドバイスなどをもらい活動に活かすことを目的に毎年開催されています。本庄学院の活動が特別賞を受賞しました。2026年度は、早稲田リサーチパークを会場で開催されます。

【2025年度川の日シンポジウム】

3月15日(土)13:00～14:30、早稲田リサーチパークで川の日シンポジウム2025(主催:早稲田大学本庄高等学院・本庄市立藤田国際リサーチパーク、後援:埼玉県・本庄市・本庄市教育委員会 協力:NPO法人川・まち・人プロデューサーズ)を対面・オンライン併用のハイブリッドで開催しました。昨年同様、三重大学附属小の皆さんも会場でも発表してくださいました。また、石川県七尾高等学校の皆さんから文部科学省スーパーサイエンスハイスクール認定校として取り組まれている、環境DNAを使った生態調査について、オンラインで報告してくださいました。

【合同河川調査】

川研は藤田小と合同で年2回の河川調査を小山川と元小山川で実施しています。学院生は4班に分かれ、児童たちにタモ網の使い方を教えるとともに、安全に河川内で調査を進めるための管理を行いました。採取の結果、コケチバスの成魚、ミナコイ、アカミミガメ、カワリヌエビなどの外来種が多数確認されました。アカミミガメについては、甲羅径が10センチ程度であり綺麗なことから、誰かが購入後すぐに川に放したことが予想されます。また、在来種としては、シマドジョウやドジョウ、オイカワの稚魚などが見つかりました。

【台湾台南市曾文溪における台南一中との合同河川調査】

今年度初めての試みとして、台湾の河川の調査を実施することができました。台湾の台南市にある国立台南第一高級中学(台南一中)と本庄学院河川研究班12名との合同河川調査を、台南市を流れる曾文溪上流部において実施しました。大きく日本の河川環境と異なることに驚きました。

【出前授業】

藤田小をはじめ、金屋小などで河川環境に関する出前授業を実施しました。

【高等学院との連携】

8月6日(水)、高等学院の環境プロジェクトチームと本庄学院河川調査班との合同河川調査を小山川で行いました。この連携プログラムはこれで3回目になります(昨年は実施できず)。同時に、バックテストによる水質調査を行いました。

◆JAひびきのプログラム

6月11日(水)午後2時からJA 増玉ひびきの発表会が開催されました。このプロジェクトは昨年6月より「本庄産物のPR」をテーマに始まり、地域に貢献してほし、もって地域を知ってほしいという本庄学院側の思いもありです。

JAとの2回のミーティング、農家を訪問しての収穫体験(梨狩り、さつまいも掘り)、物産館の見学、本庄産物(プロコリー・ネギ)の試食を通して、PRするポスターやポップの制作に取り組みました。この日はポスター・ポップの発表会でした。

◆小学校プログラム

本庄学院では地域貢献プログラムとして本庄プロジェクト推進室・本庄市教育委員会の協力のもと、学院生が市内小学校に出前授業をしています。国際理解授業と総合学習支援に分かれます。

◆市民総合大学・こども大学本庄

市民総合大学は、本庄市が市民の生涯教育を目的として開催しているプログラムです。こども大学ほんじょうは本庄市と近隣町村教育委員会が主催しているプログラムです。本庄学院はこれらのプログラムに講師派遣等の協力を行っています。

◆アントレプレナーシッププログラム

◆「起業と英語プレゼンに挑戦してみよう! Be A Global Innovator」

7月13日(日)、10:00～15:00の日程で「起業と英語プレゼンに挑戦してみよう! Be A Global Innovator」を開催しました(協力:日本政策金融公庫)。本プログラムは、本庄学院の留学生および学院生が中心となり、公募により参加した中学生と共に、アントレプレナーシップや英語によるプレゼンテーションに取り組むことで、起業や地域課題の解決、英語での発信力向上を目的としたワークショップです。当日は、留学生のTroy Robert Uchimiya(トロイ・ロバート・ウチミヤ)さんと学院生8名、さらに応援に駆けつけた卒業生が加わり、チーム一丸となってイベントの企画・運営を担当しました。準備から受付、ファシリテーションまで各自が役割を果たし、1日を通してイベントは大成功を取り、達成感に満ちた1日となりました。

高等学院との連携プログラム

◆WASS (Waseda Affiliated Schools' Summit)の活動

WASSは両高等学院が早稲田大学の理解と学院生活の充実を目標として活動を行っているプロジェクト活動です。3月17日(月)13:10より早稲田大学22号館203教室で

表記発表発表会を開催しました。学院長挨拶、アイズプレイクの後、両高等学院生が6チームに分かれ、自分たちの考えを発表しました。今年のお題は「両学院における不満とその改善点」でした。

8月5日(火)9:00～12:00、早稲田大学11号館606教室にて第2回WDayを開催しました。昨年は早稲田渋谷シカゴボール校がオンライン参加をしました。今年は、早稲田附属関係全ての学校が参加しました。

生徒達の活躍

◆卓球部

令和7年度 北部支部卓球大会 (9月16日、くまがやドーム体育館) 女子シングルス 準優勝 柴崎 葵(2D) ベスト16 山名風紗(1B)

◆サッカー部

令和7年度高校総体サッカー埼玉県予選 【1回戦】5月31日(土)@本庄第一高校 対 川越南高校 3-0 勝利[得点者: 鈴木(3年)、藤ヶ谷(2年)、西村(2年)] 【2回戦】6月3日(火)@聖学院学園高校 対 花咲徳栄高校 0-5 敗退 【104回全国高校サッカー選手権埼玉県2次予選】10月13日(日)@西武文理高校 対 不動岡高校 1-2 敗退[得点者: 前野(3年)] ・高円宮杯FAU18サッカーリーグ埼玉2025S3 (県3部)リーグ 開催期間: 4/6～12/8 全18試合 途中結果: 1勝5分10敗 10位(16節終了時点)

◆ソフトテニス部(男子)

インターハイ県予選会 個人戦の部(6/8) ベスト16 鈴木唯(2D)・関谷(3F)ペア 県新人選手権大会(8/18) 第1位 鈴木・浅見(1C)ペア ベスト4 合田健人(1A)・加藤(2G)ペア ベスト8 浅見(1H)・上田(2E)ペア ・新人大大会北部支部予選 個人戦の部(9/19) 第1位 鈴木・浅見ペア ベスト8 合田・加藤ペア ・新人大大会 個人戦の部(11/8) 第3位 鈴木・浅見ペア ベスト32 合田・加藤ペア ・埼玉県高校ランキング 第8位 鈴木・関谷(11/8表彰) ・新人大大会 団体戦の部(11/14) ベスト16

◆硬式テニス部(男女)

埼玉県新人大大会 北部地区2次予選(8月20日・21日) 男子シングルス 5位 中田 琉生、16位 高田 謙平、17位 石川 修大、23位 小池 徹平 女子シングルス 17位 清松 由衣、21位 川口 紗世、28位 高田 聖、32位 本莊 奏美

女子ダブルス 10位 清松・松本、16位 高田・早野

埼玉県高等学校新人大会 個人(10月4日・5日) 男子シングルス ベスト16 中田 琉生 女子シングルス ベスト64 清松 由衣

埼玉県高等学校新人大会 団体(10月31日) 男子 ベスト8

◆硬式野球部

選手権大会 2回戦 7月11日(金)@熊谷公園球場 対 大宮高校 18-8 (5C) 3回戦 7月15日(火)@熊谷公園球場 対 久喜北陽高校 9-3 4回戦 7月19日(土)@熊谷公園球場 対 星野高校 4-2 5回戦 7月21日(月)@レジスタ大宮球場 対 山村学園高校 5-9 【県ベスト16】

多くの学院生・関係のみならず、応援をありがとうございました。みなさまの応援が選手たちへの大きな力となりました。この場を借りて、お礼申し上げます。

◆秋季大会北部地区予選

1回戦 9月7日(日)@UDトラック上尾球場 対 4校連合(熊谷農・桶川西・日高・越生) 10-0 (5C)

代表決定戦 9月11日(木)@UDトラック上尾球場 対 伊奈学園高校 1-3

◆男子バスケットボール部

R7年度 高校総体北部支部予選 1回戦 5月31日 早大本庄 76-62 熊谷工業 2回戦 6月7日 早大本庄 71-48 進修館 3回戦 6月8日 早大本庄 64-94 本庄東

R7年度 北部支部リーグ戦 1部 6位

1節 8月13日 早大本庄 63-88 滑川総合B 2節 8月16日 早大本庄 56-89 熊谷西 3節 8月20日 早大本庄 55-92 本庄第一 4節 8月31日 早大本庄 81-72 松山 5節 9月7日 早大本庄 46-106 正智深谷B

入替戦 10月5日 早大本庄 77-64 深谷第一

R7年度 新人大大会北部支部予選 2回戦 11月8日 早大本庄 81-62 熊谷工業 3回戦 11月14日 早大本庄 62-85 東京農大三

◆女子バスケットボール部

高校総体北部支部予選 1回戦 5月31日 ×早大本庄 56-73 秩父 北部新人大大会 2回戦 11月8日 ×早大本庄 51-98 熊谷農業

◆陸上部

多くの選手が県大会を勝ち抜き、関東大会、全国大会に出場しています。

・全国高校総体北関東地区予選会(栃木県宇都宮市 6月13～16日)

男子

走幅跳 ★佐藤 大地(3) 2位 7m32
棒高跳 松本 唯翔(2) 7位 4m40
やり投げ ★杉山 蔭(3) 4位 55m95
★岡山 龍一(3) 6位 55m87
★竹島 龍臣(3) 優勝 5169点

八種競技 ★竹島 龍臣(3) 優勝

男子総合6位

女子

走高跳 ★佐藤那々子(2) 3位 1m64
走幅跳 伊藤 和奏(3) 7位 5m55

★印は全国インターハイ出場

・国民スポーツ大会 埼玉県予選会 上尾 8月11日

男子

B100m 金竹 智寛(1) 5位 10.97
A300m 東城 諒汰(3) 8位 36.62
110H 鈴木 修マナ(1) 6位 15.06

女子

B100m 山本有里菜(1) 4位 12.77
300H 翁井 優芽(2) 4位 45.23
2000m障害 山本 絢心(3) 4位 9:15.62

埼玉県新人大大会競技大会 熊谷 9月26～28日

男子

110H 鈴木 修マナ(1) 4位 15.35
棒高跳 ★松本 唯翔(2) 2位 4m40
三段跳び 水飼 優心(2) 4位 13m98
4X100mR 鹿島颯(1)鈴木修マナ(1) 高際悠太(2)稲玉慶馬(1) 7位 42.74

4X400mR 森田翔武(2)稲玉慶馬(1) 古西祐翔(1)原龍太郎(1) 6位 3:25.34

やり投げ 植田 光輔(2) 7位 48m28

女子

100m 山本有里菜(1) 6位 12.83
400m ★矢島 更紗(2) 2位 58.70
800m 小瀧 凛々(2) 8位 2:32.47
100H 翁井 優芽(2) 4位 14.81
400H ★翁井 優芽(2) 優勝 1:04.72
400H ★矢島 更紗(2) 2位 1:05.15
走高跳 佐藤那々子(2) 3位 1m61
4X100mR ★早大本庄 出口 桜子(1)山本有里菜(1)

翁井 優芽(2)矢島 更紗(2) 2位 48.28
4X100mR ★早大本庄 金嶋ゆうか(1)山本有里菜(1) 翁井 優芽(2)矢島 更紗(2) 優勝 3:59.13

女子トラック総合優勝

★印は関東新人大会出場

・関東新人大会 山梨県 甲府市 10月18～19日
男子 棒高跳 松本 唯翔(2) 5位 4m40
女子 400H 矢島 更紗(2) 7位 1:04.54

◆ラグビー部

・国スポ県予選

1回戦 5月31日(土) 早大本庄 5-3 大宮
2回戦 6月7日(土) 早大本庄 36-19 伊奈学園
準決勝 6月11日(水) 早大本庄 5-54 熊谷
3位決定戦 6月15日(日) 早大本庄 7-46 浦和

・花園予選

2回戦 9月21日(日) 早大本庄 68-10 滑川総合
3回戦 9月28日(日) 早大本庄 7-52 深谷

春以来、「かませ」を矢島組のスローガンとして厳しい練習を行い、14年ぶりの花園予選Bシードを獲得することができました!

その後も目標である花園予選ベスト8を目指して練習に励んできましたが、深谷高校に力負けしました。しかし、ノーサイドの笛が鳴るまで全身全霊で戦った選手たち、ベンチから大声を出して仲間を応援してくれた控えの選手たち、これまでの活動を大いに支えたマネージャーたち全員のこれまでの努力を大いに讃えたいと思います。また、応援部はじめ会場まで応援に来てくださった皆様には、今年も熱い応援をいただき、心より御礼申し上げます。12月中旬からは金子匠祐さん(2-C)率いる新チームの新人戦が始まりました。あらためて応援よろしくお願ひ致します。皆さん、ラグビー部はいつでも入部OKですので、少しでも興味がある人は是非、グラウンドへ見学に来て下さい!マネージャーさんも大募集です!部員一同お待ちしております!!

◆自転車部

令和7年度関東高等学校自転車競技大会 5/30～6/1 トラック競技(西武園競輪場)

チーム・スプリント(3F上原・2F 渡辺・2H太田)18位

スプリント(3F上原)予選25位

ケイリン(2F渡辺)出場

令和7年度高等学校自転車競技新人大会県大会

10/3 トラック競技(大宮競輪場)

10/20 ロード競技(群馬サイクリングスポーツセンター)

チーム・スプリント(2F石井・2F渡辺・1H佐竹)4位

4km速度競技(2H太田)1位

スプリント(2F渡辺)4位、(1H佐竹)8位

ポイントレース(2F石井)8位

ロードレース(2H太田)6位、(2F石井)17位

令和7年度関東高等学校新人自転車競技大会 10/31～11/2 トラック競技(大宮競輪場)

スプリント(2F渡辺)予選27位

4km速度競技(2H太田)11位

なお、この結果2H太田は全国高等学校選抜自転車競技大会トラックレース及びロードレースへの出場権を獲得しました。

トラックレースは3/13～15に日本トナークリウドーム(群馬県)、ロードレースは3/16に日本サイクリングスポーツセンター(静岡県)を会場で開催されます。

自転車部の全国選抜大会へ出場は3年ぶりとなります。

競輪甲子園2025

3F上原が埼玉県代表として選抜され、競輪甲子園2025に出場しました。

11/2～3(いわき平競輪場)

200mFTT 34位、1kmTT 32位、ケイリン予選出場

◆バドミントン部

会長杯シングルス大会 女子Hブロック3位 渡部

・新人大大会北部支部予選会(個人戦・団体戦)

男子団体 3位 女子団体 3位

男子シングルス 9位 光永

女子シングルス 2位 渡部

男子ダブルス 4位 小寺・光永 9位 小松崎・近藤

女子ダブルス 4位 佐子・渡部 11位 近藤・程田

・新人大大会埼玉県予選会(団体戦)

男子団体1回戦 早大本庄 0-3 星野

女子団体1回戦 早大本庄 1-3 山村学園

◆剣道部

・全国大会県予選・男子団体

6月23日 ベスト16(創部以来最高記録)

◆ワンダーフォーゲル部

日帰りで定例山行と夏山・秋山山行を中心に、県東山地区の日帰りおよび1泊2日と、夏山合宿は主に北アルプスに2泊3日の縦走登山に出かけます。日帰りでも5～6時間は歩く健脚コースを設定しています。今年度は夏山合宿を2コースに分けて実施しました。

今年度これまでに実施した山行は、次の通りです。他の公認団体との兼業や途中からの入部も可能です。仲間と山を歩きながら、気分をリフレッシュしてみませんか?

4/27 新飯山山行

天覚山・大高山)

5/11 丸山

5/25 榛名山

6/8 赤城山

6/8～8 夏山合宿B (北ア・常念岳)

*雨の多い途中で下山

8/27～29 夏山合宿C (南ア・北岳)

9/14～15 秋山合宿 (三ツ峠山)

10/12 谷川岳

◆囲碁将棋部

7月29日、30日に香川県まんのう町で開催された第49回全国高等学校総合文化祭に2年横村が参加し、将棋女子個人の部で3位になりました。また、11月2日には第45回埼玉県高等学校将棋王将棋大会女子個人で優勝し、1月に山形県天童市で開催される新人大会に出場します。

◆書道部

★第18回全国高等学校書道パフォーマンス甲子園 本戦出場

※本戦出場者 21校(33都府県104校応募)の中で12位受賞

★第63回埼玉県書道中央展覧会

特選賞: 高橋 佑那
須藤 佑理
山崎 咲音
坂庭 千歳
坂田 結香

優良賞:

◆茶道部の活動

茶道部は、週2回のお稽古の他、お初釜などの定期的なお茶会開催、本庄学院の国際交流活動における歓迎お茶会、学院説明会における坐席席、市民総合大学などの講師を実施しています。

【本庄東高校茶道部との交流】

4月5日(土)14時より、有勝寺にて本庄東高校茶道部をお迎えし、交流お茶会を開催しました。この催しは、1年前に本庄東高校茶道部に本学院茶道部がご招待を受けており、そのお返しに形です。

【赤堀製菓学校との和菓子ワークショップ】

8月27日午後、赤堀製菓学校のご協力により、匹田順治先生をお招きし、茶道部に対する和菓子作りワークショップを開催することができました。ちょうど来日した留学生えりさん(中国)・ゆりさん(台湾)・ピオニーさん(タイ)も参加しました。

【国際交流における歓迎お茶会】

今年度、韓国・台湾・タイの生徒たちをおもてなしする歓迎お茶会を開催しました。

